

平成21年10月28日

クリーン開発と気候に関するアジア太平洋パートナーシップ（ＡＰＰ） 第３回閣僚会合の結果について

クリーン開発と気候に関するアジア太平洋パートナーシップ（ＡＰＰ）第３回閣僚会合が、１０月２７日（火）、中国の上海において開催されました。本閣僚会合では、これまでのＡＰＰの活動のあり方の有益性について再確認の上、今後のＡＰＰの方向性に関する検討が行われました。

1. 我が国からは、冒頭のカントリーステートメントにおいて、９月に国連で行われた我が国中期目標及び鳩山イニシアチブに関する鳩山総理の演説について紹介を行ったところ、議長国の中国をはじめ高い評価と期待が表明されました。
2. また、気候変動問題について世界的な協力の重要性が高まる中、ＡＰＰは、その模範となるものであり、我が国からは、今後の方向性として、次の３つの提案を行いました。
 - ① 活動の拡充、対象分野の拡大
 - ② ＡＰＰの成果を２０１３年以降の新たな国際枠組み構築に反映。
 - ③ 技術の開発と普及は今後の温暖化対策の鍵であり、重要技術分野について開発などで協力が行われている「エネルギーと気候に関する主要経済国フォーラム（ＭＥＦ）」との連携強化。
3. 今回の会合では、国連気候変動枠組条約やＭＥＦなど様々な活動との連携について検討が行われ、政策実施委員会に対しては、今後の活動強化、例えば、交通分野の追加検討を行うなどの要請が行われており、次回の政策実施委員会は我が国での開催となることも踏まえ、その成果が２０１３年以降の次期枠組みに適切に反映されるよう、今後、我が国としても積極的に対応していくことが必要となります。

詳細については、以下資料のとおりです。

資料1：クリーン開発と気候に関するアジア太平洋パートナーシップ（A P P）第3回閣僚会合～概要と評価～

資料2：各国の主な出席者

資料3：コミュニケ（本文）

資料4：コミュニケ（仮訳）

（本発表資料のお問い合わせ先）

産業技術環境局地球環境対策室長 村上

担当者：遠藤、山田

電話：03-3501-1511（内線 3524～6）

03-3501-7830（直通）